

2021年2月24日

交通費・経費精算のDXサービス 「Smart Go[®]」「SmartGo[™] Staple」において 「通勤費／交通費」判別機能の提供を開始 ～定期代を廃止する企業の精算業務効率化に対応～

NTTコミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、「Smart Go[®]」および「SmartGo[™] Staple」において、モバイル Suica^{※1}を利用した費用の履歴について、通勤にかかった費用とそれ以外の交通費とを判別する機能(以下 本機能)の提供を順次開始します。

これにより、定期代の支給が廃止されることで、通勤費の都度精算が必要になった場合にも簡単に通勤費と交通費とを仕訳できるようになり、リモートワークに対応した業務プロセスの効率化を実現します。

1. 背景

コロナ禍でリモートワークの普及が進む中、企業においては、定期代の支給を廃止し、通勤費の実費精算に切り替える動きが見られます。しかし定期代の支給を廃止すると、出社する度に通勤費の精算が必要となり、従業員の負担が増えてしまいます。また企業にとっても、交通費の履歴の中から、通勤費とそれ以外の交通費とを正しく判別して計上する必要があります^{※2}ため、仕訳の負担が増えることとなります。

このため NTT Com は、「Smart Go[®]」および「SmartGo[™] Staple」に本機能の追加を行いました。

「Smart Go[®]」は、会社用のモバイル Suica を使用し、利用履歴を自動で取得することで、電車に乗るだけで従業員の交通費精算が完了するサービスです。従業員の交通費立て替えを無くし、申請業務を不要にすることができます。

また「SmartGo[™] Staple」は、交通費精算の自動化に加え、経費精算の自動化も実現するサービスです。クレジットカード対応の店舗で支払いができる法人用プリペイドカードを利用することで、経費データを自動で経理システムなどに取り込むことができます。

2. 概要

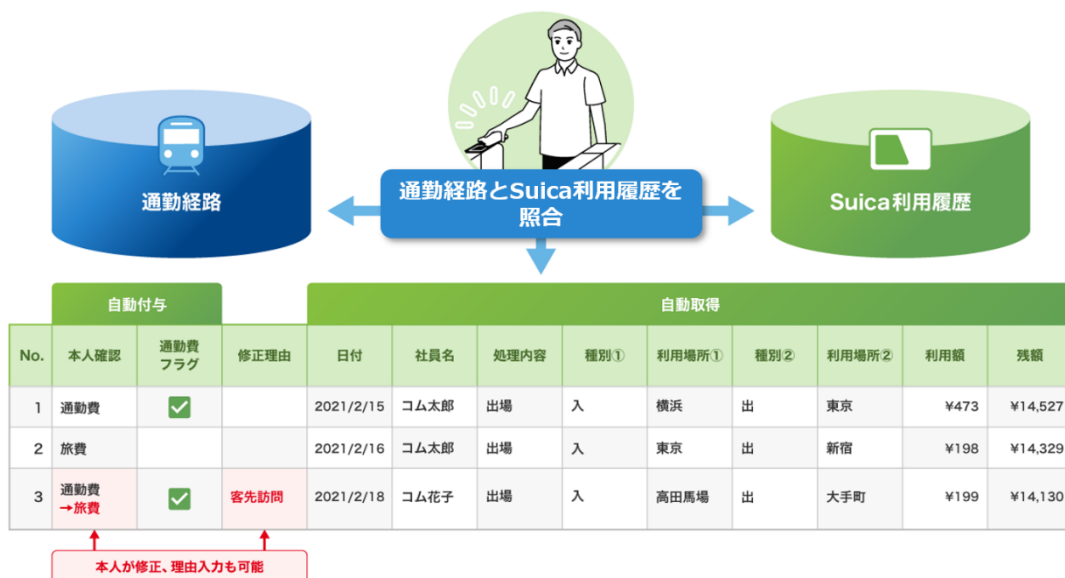
本機能により、「Smart Go[®]」および「SmartGo[™] Staple」と連携したモバイル Suica の利用履歴に、「通勤費」「交通費」の費目が自動で表示されるようになります。従業員が事前に登録した通勤経路情報と照合し、通勤経路に一致した場合は「通勤費」、一致しない場合は「交通費」のフラグを自動で付与します。

利用履歴は経理システムなどに取り込まれる前に確認することができ、手動での修正や事

由の入力も可能です。

定期代の支給を廃止しても、通勤費を出勤の都度精算する必要がなく、精算業務を効率的に行うことができます。

<本機能のイメージ>



3. 利用方法

「Smart Go®」および「SmartGo™ Staple」に自動で本機能が追加されます。ご利用にあたり、お申し込みや追加の料金は必要ありません。

4. 提供開始日

「Smart Go®」 2021年2月24日

「SmartGo™ Staple」 2021年3月8日

5. NTTコミュニケーションズの事業ビジョン

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICT サービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステイナブルな未来の実現に貢献していきます。

Re-connect X™

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※1: 「Suica」は、Suica カード、モバイル Suica を含む東日本旅客鉄道株式会社のサービスです。交通系 IC カードとして、電車の乗り降りや買い物に使うことができます。また、「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。「Smart Go®」および「SmartGo™ Staple」は、「モバイル Suica」でご利用いただけます。

※2: 企業が通勤費にもとづいて支給する通勤手当は、交通費と異なり、給与(所得)扱いになるため。